

### (3) 乗り物

会津地方では、1897（明治30）年に人力車<sup>じんりきしゃ</sup>が営業<sup>えいぎょう</sup>を始めました。

町では、80年くらい前に、人力車<sup>いしや</sup>が医者<sup>せんようしや</sup>の専用車として使用されました。

その後、1927（昭和2）年に、本郷—若松間で4人乗り<sup>ていど</sup>程度の小型自動車<sup>こがた</sup>が、旅客<sup>りょかく</sup>営業<sup>えいぎょう</sup>を始めました。

やがて、1949（昭和24）年には、今のようなバスが1日<sup>おうふく</sup>6往復することになりました。

現在は16往復<sup>うんこう</sup>が運行されています。

バスは、なくてはならない大切な交通機関ですが、最近<sup>さい</sup>では、車の普及<sup>ふきゅう</sup>により、自家用車を利用する家庭が多くなってきました。



本郷車庫前

1日に若松—本郷間を利用する人数  
(会津乗合調べ)

